

会 議 録

1 会議名

令和5年度第10回牧区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項（公開）

(1)地域独自の予算の事業一覧について

○協議事項（公開）

(1)地域協議会活動報告会の開催について

(2)次期地域協議会における自主的審議事項の課題について

3 開催日時

令和6年2月20日（火）午後6時00分から午後7時10分まで

4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：西山新平（会長）、飯田秀治（副会長）、池田幸弘、井上光廣、小黒誠、折笠忠一、坂井雅子、佐藤祐子、清水薫、高澤富士雄、難波一仁、横尾哲郎
- ・事務局：牧区総合事務所 米川所長、小林次長（総務・地域振興グループ長兼務）、佐々木市民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長、藤井地域振興班長、田中地域振興班主事

8 発言の内容（要旨）

【小林次長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【西山会長】

- ・挨拶。

【米川所長】

- ・挨拶。

【西山会長】

- ・会議録の確認：小黒委員に依頼。
- ・報告事項である、(1)地域独自の予算の事業一覧について、事務局より説明を求める。

【藤井班長】

—資料No. 1に基づき説明—

【西山会長】

- ・今程説明のあった件について、質問や意見等はないか。

【難波委員】

- ・令和6年度地域独自の予算事業の予算総括表を見ると、全体的に予算額が少ない。従来の地域活動支援事業では、予算配分額に達しなければ二次募集を募るなど、言い方は悪いが無駄な予算を使っていたように思える。全体的な予算としては、地域活動支援事業と比較するとどのようなものなのか。

【小林次長】

- ・地域活動支援事業の予算額は、28区で約1億8000万円であった。その後、地域独自の予算が導入され、目的に沿って各地域で提案内容が調整されたことにより、全体的な件数が減少したと思われる。とくに、合併前上越市では、提案件数が伸び悩んでいる。地域全体ではなく町内会が主体となっている提案もある。また、地域独自の予算の補助率の段階的な見直しにより、実施主体の負担が大きくなるなどの課題もあることから、現在、地域自治推進プロジェクトで検討している状況である。

【清水委員】

- ・昨年同様、三和区の予算額が多いと感じる。「高校生通学等支援事業」の具体的な内容を教えていただきたい。

【藤井班長】

- ・「高校生通学等支援事業」は、子育て世帯の負担を軽減するとともに、通学の新たな交通手段としてのニーズや有効性を検討するために、高田区から三和区間で高校生乗り

合いタクシーの実証運行を行う事業である。

【西山会長】

- ・他に質問や意見等がないため、報告事項を終了する。
- ・続いて、協議事項(1)地域協議会活動報告会の開催について、事務局より説明を求める。

【藤井班長】

—資料No. 2に基づき説明—

(パワーポイント資料に沿って予行練習)

【藤井班長】

- ・今程、活動報告に要した時間は16分であった。予行練習を通して、お気づきの点や修正点などがあれば、発言をお願いしたい。

【佐藤委員】

- ・パワーポイント資料では、いくつか事務局説明がないページがある。

【藤井班長】

- ・時間に余裕があることから、事務局で説明を追加させていただく。

【西山会長】

- ・各パワーポイントページについて詳細の説明がない。言葉を加える必要はないか。

【米川所長】

- ・先程の予行練習で、折笠委員が「この写真は～である」と説明されたやり方もあるように、シナリオに記載がなくても対応いただきたい。一方で、全てのスライドについて説明する時間はないため、工夫が必要である。

【難波委員】

- ・先日開催された地区別まちづくりワークショップでも話したが、牧区の課題を解決するためには雇用の場が大事だと考える。区内の事業所が今以上に雇用を確保することができればよいが、事業所ごとに考え方が異なり、今以上に雇用を増やしていくことは難しい部分もあると思われる。一方、新たな雇用の場があれば、そこに住み着く人がいる。そこに住み着く人がいれば、子どもが増えることも期待できる。人口が増えれば、店舗の増加、小中学校児童数の増加など、牧区が抱える課題の解決につながる。さらに、荒廃地になることが懸念される土地を有効活用し、企業を誘致することができれば、空き家問題などの解決につながる。区内の事業所が雇用を増やすとともに、

荒廃地を利活用して取り組んでいくことができればよい。このような内容を報告させていただきたいと考える。

【坂井委員】

- ・当日は「自主的審議テーマに沿って、各団体と意見交換会を実施」の項目を報告させていただいたが、三つ記載されている意見交換会の中で、牧振興会との意見交換会のみ参加していない。実際に参加した意見交換会のみ報告する形でよろしいか。

【藤井班長】

- ・坂井委員が参加されなかった意見交換会に関しては、事務局で補足説明をさせていただく。

【西山会長】

- ・報告会当日、一般参加者に対して配布資料はあるのか。

【藤井班長】

- ・報告会当日は、読み原稿を省略したパワーポイント資料を配布予定である。

【西山会長】

- ・以上で、一つ目の協議事項を終了する。
- ・続いて、協議事項(2)次期地域協議会における自主的審議事項の課題について、事務局より説明を求める。

【藤井班長】

—資料No. 3に基づき説明—

【西山会長】

- ・今程説明のあった件について、質問や意見等はないか。

【難波委員】

- ・次年度地域協議会委員になる方もそれぞれ思いを持っている。継続協議とした課題については引き続き取り組んでいくこととして、内容としては現状のままでよい。

【米川所長】

- ・資料については、現地域協議会委員から協議いただいた成果がまとまっている状況である。改選後は、継続協議に引き続き取り組むとともに、自分の思いを持って地域協議会委員になる方の意見も取り入れ、新たな課題を検討していく地域協議会であってほしい。

【西山会長】

- ・他に、質問や意見等がないため、協議事項を終了する。
- ・続いて、その他連絡事項について、事務局より説明を求める。

【田中主事】

- ・各区の「地域活性化の方向性」について（津有区）
- ・次回地域協議会の開催は3月19日の火曜日、午後6時からとする。後日、案内文を送付するため、出欠についてご報告いただきたい。

【西山会長】

- ・他に意見を求めるが発言がないため、飯田副会長に閉会のあいさつをお願いする。

【飯田副会長】

- ・会議の閉会を宣言。

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-533-5141（内線147）

E-mail：maki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。